

氏名	小松尾 京子
学位の種類	博士(学術)
学位授与年月日	令和3年3月24日
学位論文名	ケースカンファレンスにおけるスーパービジョン機能に関する研究 ー主任介護支援専門員を対象としてー
論文審査委員	主査(教授) 岡田進一 副査(教授) 大西次郎 副査(教授) 所道彦

論文内容の要旨

申請論文は、主任介護支援専門員が行うケースカンファレンスにおけるスーパービジョンに関する研究で、特に、ケースカンファレンスの際に主任介護支援専門員が行うスーパービジョンの機能に関する議論について展開がなされている論文である。本論文は、序章ならびに第1章から第4章、終章で構成されている。序章では、研究背景ならびに問題の所在についての整理が行われ、研究目的の設定が行われている。第1章では、ケースカンファレンスにおけるスーパービジョンの機能に関する議論やそのことに関する文献研究が行われ、スーパービジョンに関する論点整理が行われている。第2章では、スーパービジョンの基本的な機能を明らかにするため、主任介護支援専門員に対するインタビュー調査が実施され、その内容についての質的な分析が行われている。第3章では、第2章で明らかにされた内容をさらに精査し、精緻化するため、再度、主任介護支援専門員に対するインタビュー調査が実施され、その内容についての質的な分析が行われている。第4章では、ケースカンファレンスにおけるスーパービジョン機能を明確にするため、第3章の質的な分析の結果や先行研究などにもとづき質問紙調査が実施され、その分析のために因子分析が行われている。分析の結果、【議論を方向づける働きかけ】、【議論の活性化に向けた働きかけ】、【メンバーの省察を深める働きかけ】、【メンバーのアセスメントに向けた働きかけ】、【メンバーの関係づくりに向けた働きかけ】、【事例の共通理解に向けた働きかけ】の6因子が抽出されている。終章では、各章の要約および主任介護支援専門員のスーパービジョン機能を向上させるための方策についての提言がなされている。具体的には、スーパービジョン機能を高めるための主任介護支援専門員に対する研修の実施、スーパーバイザーである主任介護支援専門員に対するサポート体制の整備、ケースカンファレンスを活用したスーパービジョン体制の確立や普及等が提言されている。

論文審査結果の要旨

申請論文では、ケースカンファレンスにおける主任介護支援専門員によるスーパービジョンに関するさまざまな議論が整理され、ケースカンファレンスにおいて主任介護支援専門員が行うスーパービジョンの機能が明らかにされている。本研究で得られた知見は、主任介護支援専門員によるスーパービジョンの質の向上やスーパービジョン体制の確立・普及によるケアマネジメント・サービス全体の質の向上に役立つ具体的な実践的含意を示すものであり、本論文でなされた提言は示唆に富んだものである。また、スーパービジョンの場をケースカンファレンスに限定して議論を行い、主任介護支援専門員がスーパービジョンを行う際、どのような点に留意しなければならないのかを具体的に示した点は、非常に高く評価することができる。慎重に審査を行った結果、本審査委員会は、申請論文が博士(学術)の学位を授与するに値するものであると認めた。